

## コーポレートファイナンスと戦略判断

専任講師 朝岡大輔

### 1. 研究内容

企業の戦略と財務活動は密接につながっています。演習の目標は、コーポレートファイナンスの判断軸を通じて、企業を成長に導く戦略や意思決定を財務的にも理解できるようになることです。大企業からスタートアップまで様々な企業が、事業の参入、拡張投資、資金調達、IPO、M&A、スピンオフなど多様な戦略的な決定を行いますが、そこには投資家との意思疎通を通じて財務的な規律が働いています。その理解のために国内外の企業のケースに即した研究や討議を行い、理解に必要なフィナンシャル（財務）モデリングの基礎的な技術も演習を通じて習得します。企業行動を深く理解し、経営を支える意思決定の判断軸について探究していきます。

### 2. ゼミの進め方

《2年次》

春学期は、企業価値評価やM&Aなどを米国のケースを用いて学びます。

秋学期は、プロジェクト判断を米国のケースを用いて学び、シミュレーションゲームを行います。

《3年次》

春学期は、日本企業を中心に、事業戦略とファイナンスの意思決定の関係について学びます。

秋学期は、さらにコーポレートガバナンスとの関係について深く学びます。

《4年次》

春学期は、具体的な企業やテーマを対象として卒業論文の準備をします。

秋学期は、卒業論文の作成と指導を行います。

いずれの年次も合宿は行いません。

### 3. 教材

全体として、ハーバードビジネススクールのケースなど（主に学部生向け）を用います。

2年次で砂川伸幸『コーポレートファイナンス入門 第2版』（日経文庫）、

3年次で砂川伸幸他『経営戦略とコーポレートファイナンス』（日経新聞出版社）を用います。

その他の参考文献は、ゼミ内で紹介します。

### 4. 成績評価の方法

参加度・貢献度 50%、ケースレポートや卒業論文など成果報告 50%によって評価します。

### 5. ゼミ入室試験（選考方法）

選考方法につきましては、Oh-o!Meijiにて、後日連絡します。

### 6. その他・志願者へのメッセージなど

ケースなど、英語の文献に触れる機会が多いです。演習を通じて基礎的な英語力を高めることは、将来にわたって多くの学びを得る助けになります。交換留學生が参加することもあります。コーポレートファイナンスや現実の企業の戦略上の意思決定に興味を持つ学生を大いに歓迎します。